

パラアート（障害者アート） 国際交流活動事業

公益財団法人 日本チャリティ協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-19 4階

助成事業の概要

国際交流連絡協議会協力委員会を開催、3カ国間での情報交換を行いました。

1 「2019 パラアート TOKYO」第5回国際交流展

事業の成果

1 「2019 パラアート TOKYO」第5回国際交流展

「東アジア文化都市 2019 豊島」を記念し、障害者芸術の充実と拡大を企図して、日・中・韓を主軸に絵画と書の作品を、児童の作品も含め展示、開催しました。

当協会では、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、「2020パラアートTOKYO（仮称）」国際交流展を企画しています。そこで、障害者アート（パラアート）の国際展である「アジア・パラアートTOKYO」国際交流展を2009年から日中韓の3ヶ国を中心として開催してまいりました。そのため、今回の交流展も、昨年度に引き続き、オリンピック参画プログラムとして選定されています。

これに加えて、5回目となる今回は、開催会場となる豊島区が、2019年の「東アジア文化都市」として選定され、1年間に様々な事業が展開されますが、そのオープニングを飾るイベントとしても選定されました。そこで、今回の交流展開催に先立ち、海外作品公募のため、当協会のホームページを改定、英語版の募集ページを作成し、障害者芸術の充実と拡大を図りました。展示会開催期間中は、多くの来場者の方々に障害者アート（パラアート）の魅力を堪能していただきました。また、この国際交流展の観覧を通じ、障害に対する理解を深めるとともに、障害のある方が芸術文化活動を通じて自己を表現し、社会とより広く関わりを持ち、その自立と社会参加を一層促進し、ひいては、障害の有無に関わらず、お互いを尊重

（開催日時）平成31年2月1日（金）～5日（火）
10時から18時まで

（開催場所）としまセンタースクエア（豊島区役所庁舎1階：豊島区南池袋2-45-1）

（来場者数）延べ 1,543人

（作品展示）225点【絵画作品 日本 76点
日本児童 19点 中国 15点、韓国 11点、その他外国 47点 児童 13点 書作品 日本 24点 中国 10点、韓国 10点】

（オープニング・パフォーマンス）「日本舞踊」七福神、「手話狂言」梟山伏、「大書揮毫」（飛翔）

2 パラアート連絡協議会協力委員会

国際交流展が開幕した2月1日午後2時から、豊島区役所会議室で、日本、韓国、中国の東アジア3カ国の代表が集まり、足立則夫協力委員会事務局長の司会進行により、第3回パラアート

しながら共生する社会の実現に繋がっていくことを改めて確認することができました。

2 パラアート連絡協議会協力委員会

この委員会は2016年に発足。東京オリンピック・パラリンピックの際に開く「2020 パラアート TOKYO」をきっかけに、①パラアートを通じて国際交流を深める②パラアートを介して世界の障害者の生活の質（QOL）を高める――を目標にして、3カ国間での情報交換を重ねています。

委員会では、八代副会長、安韓国代表挨拶の後、自己紹介を兼ねて各国の代表がこの1年の活動報告をしました。2020 東京オリンピック・パラリンピックにおける参加の提案、国際展の参加国拡大及び日・中・韓の交流先の共有について話し合われました。今後、交流を深めるため、3カ国の作品の巡回展を開こう、との提言も生まれ、今後につながるものとなりました。

3 以上の事業を終了後、その成果物として、「図録」を編集、3月末に完成し、海外を含め、関係方面に配布、これからの取組や活動の機会拡大につなげることができました。

成果の広報・公表

<「2019 パラアート TOKYO」国際交流展の広報等>

- 1 日本チャリティ協会ホームページ掲載
 - ・ 国際交流展の開催概要及び出品作品等の紹介などの広報活動
- 2 日本チャリティ協会広報誌「チャリティ・ニュース・クォーターリー」配付
 - ・ 国際交流展の開催概要掲載による広報活動（発行部数：1, 500部）

- 3 国際交流展報告書（図録）作成
 - ・ 国際交流展図録送付による関係諸団体等への広報活動（発行部数：500部）
- 4 国際交流展のテレビ放映等
 - ・ としまテレビ放映及び新聞（読売新聞、福祉新聞）掲載
- 5 「SEBIT 2019 / 東京都専門学校アート&デザイン展」
 - ・ パラアートコーナーでの展示及び広報活動（ワークショップ）
 - 期日：平成31年2月21日（水）～26日（火）
 - 会場：東京都美術館

今後の展開

1 第6回国際交流事業（「2019 パラアート TOKYO フェスティバル（仮称）」）の開催

専門家による審査を経て選出された質の高い障害者アート作品の展示に、パフォーマンスを加えて、フェスティバル形式で企画、2020年に向け「パラアート」の国際的周知と認識の拡大を促進します。併せて、2019東アジア文化都市として指定された豊島区におけるクロージングイベントとしても位置付け、パラアートフラッグの制作や子供たちのワークショップなどの実施を予定しております。

会期： 元年11月予定 [5日間]
 場所： としまセンタースクエア
 （豊島区役所庁舎1階）（予定）

2 「パラアート国際交流連絡協議会」の開催

「2020 パラアート TOKYO（仮称）」国際交流展の開催実現に向けて、協力委員会を継続的に開催しながら、日中韓の3ヶ国がそれぞれ開

催する国際障害者展への作品出展や専門家派遣交流等を通じ、障害者の芸術文化の振興や発信などを行ってまいります。

3 2020年度には、「2020パラアートTOKYO(仮称)」国際交流展の開催を予定しています。